

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「クラブと地区の
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「しなやかな変化で
奉仕を高めましょう」



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー
2560地区ガバナー 新保 清久
高田ロータリー会長 橋詰 敏一
幹事 田中 正人

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守
小池 猛紀

第27回例会 ■ 2月2日(金)

No.27

会長挨拶 ● 橋詰 敏一



今年の厳しい寒さに今日の日差しはホッとします。この日差しの中に何となく春が少しずつ近づいているなど感ずるのは私だけではないと思います。

明日2月3日は節分で、4日は「立春」です。江戸期前の陰暦にあって、農耕に使われていた太陽暦にあっては、2月4日は新年で2月3日は大晦日との事。一年の厄を払う意味で、鬼門の方角に五穀を蒔くようになったのは、平安以降の事です。鬼門は、北東（午寅の方角）、この鬼門から鬼に豆を撒くようになり、鬼の姿は午の角と寅のパンツの今のようなスタイルが定着したようです。

皆さんは豆まきをしていますか。昨今は恵方巻に押され、店頭でも肩身が狭いようです。春が待ち遠しい中、この2月は雪（冬）の祭典、行事が各地で行われます。昨日からはレルヒ祭、来週には灯の回廊、そして平昌冬季オリンピックが来週開幕します。今しばらく、雪（冬）を楽しみましょう。

今月のロータリーは「平和と紛争予防／紛争解決」月間です。折しも北朝鮮状況が不透明の中、

平和の祭典が開催されますが、某国はこれに参加することをもって、世界をごまかす事はできません。しっかりした対応を望みたいと思います。日本は島国で、今一隣国や世界への関心が薄くなりがちな国民のように思います。そんな中、日本のロータリーが行っている米山記念奨学は、巡り巡って日本の国際理解に繋がっているものと思います。ロータリー財団の行う国際奉仕共々、皆さん宜しくお祈りします。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

東山昕也君（2/4米山記念奨学会50周年式典）

委員会報告

親睦委員会——2月の会員お誕生日各お祝い

財団委員会——寄付のお願い

社会奉仕委員会——2/9オークション提供品物について

会員インフォメーション

チャールズ・C・ストラットン君——3/26～4/4海外スタディツアー：ラスベガスのご案内

幹事報告

配布物：週報No.26・ロータリーの友2月号・財団・
米山奨学各寄付金領収書・抜萃のつづり

回 覧：ガバナー月信2月号・日本ボーイスカウ
ト新潟連盟からのお願い

報 告：4/14直江津RC60周年式典について

会員卓話 学童・少年野球に学ぶ



久保 克文 君

今回、私は「学童・少年野球に学ぶ」をテーマにしましたが、私自身は野球経験者ではありません。長男が小学校から野球を始めて、その保護者として8年間、学童・少年野球に関わってきて私自身が学んだこととお話します。世間は少子化問題で子どもが減少、学童野球チームは年々、少なくなっているようです。試合に出られない子は必ず存在するので、けっこう厳しい現実です。

この学童野球チームの監督は約20年、このチームに携わって来た監督で、実に子ども達の扱いがうまく、勝つことよりも子ども達の将来を考えた練習、とにかく野球を好きで続けてくれることを考えている監督です。少年野球では、先輩、後輩の関係、勝つことの難しさ、現実の厳しさを長男と私は一緒に学んでいます。

自分がいるホテル業界に置き換えてみると、海外旅行客の需要が急成長している中、東京オリンピック開催が追い風となって、全国的に新規開業するホテルが後を絶ちません。

伴ってホテル業界の人材不足という問題が出て来ます。帝国データバンクの資料によると従業員が不足している上位10業種、旅館・ホテルは2016年57.6%で4位、2017年は10位圏外になったようですが、人材不足が続いているのは現実です。

また、厚生労働省の資料によると大卒3年後の離職率が52.3%で半数を超えており、一般的な離職率3割を大きく上回っているとのことでした。

ホテル業界の離職率が52.3%と高いのは主に5つが原因のようです。

- ①賃金が低い
- ②労働時間が長い
- ③就業体系が不規則
- ④休みが少ない
- ⑤業界的に転職者が多い

ホテル業界はキャリア・年収UPのためには転職が必要な業界体質で、他業界より転職のハードルが低く、転職しやすいという一面があり、ヘッドハンティングが多く、人手不足の中で優秀な人材はどこのも欲しがっている現状があるようです。

人材不足に悩むホテル業界は今、IT技術を駆使しています。米航空業界から始まったレベニュー・マネジメントの手法が、日本国内のホテル業界では約20年前から導入され始めました。現在はIT技術が進歩して、専門ソフトによるデータの一元管理やAI技術を活用するホテルチェーンも多数あります。さらにハード面でも自動チェックイン機の導入やAI搭載のロボットが接客をする「変なホテル」が話題になっている状況です。

まとめになりますが、私は学童・少年野球から学んだ数々のキーワードを会社組織に置き換えて、時代が変わって、コンピューター技術が進歩しても、人のつながりを大切に、ホテル業界でより良いチームを創っていかう、そのために「名監督」のような総支配人を目指してまいります。諸先輩方にとっては全く身になる卓話ではなかったかと思いますが、少し長い自己紹介として、ご容赦いただけますようお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。